



なのはな通信

26年度 六ツ美中部小学校

校長室だより No.17

平成26年12月22日

大人への階段を上るじゅん

十一月十日の出発の朝、「修学旅行は遊びではない。何を学ぶかが大切だ。思い出として何を残すかだ。君たちは大人への階段を上っていかねばいけない。それにふさわしい言葉遣いや表現を学ばなければならない。学校をリードしていく最高学年になることが良い学校を作っていく。43人の心を一つにしてすばらしい世界文化遺産を見て、修学旅行の思い出を作ろう。」と、話をしました。

そして、修学旅行で見せた六年生の心の成長。それは、偶然にも十一月十一日に誕生日の子が二人あり、バスの中で全員がお祝いの歌を歌ったこと。また、「あとひとつ」の歌などを大合唱したことです。

あとひとつ 「FUNKY MONKEY BABYS」

「あと一粒の涙で ひと言の勇気で 願いがかなう その時が来るって

僕は信じているから 君もあきらめないでいて 何度でも この両手を あの空へ
あの日もこんな夏だった 砂まじりの風が吹いていた

グランドの真上の空 夕日がまぶしくて どこまで頑張ればいいんだ

ぎゅっと唇を噛みしめた そんな時 同じ目をした 君に出会ったんだ

そう 簡単じゃないからこそ 夢はこんなに輝くんだと そう あの日の君の言葉

今でも胸に抱きしめてるよ あと一粒の涙で ひと言の勇気で

願いがかなう その時が来るって 僕は信じてるから 君もあきらめないでいて

何度でも この両手を あの空へ のばして あの空へ」

この歌詞に込められた思いにも心を打たれ、胸がジーンとしましたが、大合唱は43人の心が一つになった宝物のような時間でした。

奈良・京都には、日本の歴史と文化を学べる貴重な遺産があり、素直な感動が得られます。

法隆寺では、「夢違観音」に再会し、中部の子たちが手を合わせる姿を見て、祈りの大切さを教えられました。東大寺では、外国の方に積極的に話しかけ、英語でコミュニケーションをしようとする子たちに、将来の国際人の姿を予感しました。宇治平等院、清水寺、三十三間堂、二条城、金閣寺は、どれも一生涯に残る輝きを観ることができました。

修学旅行では、卒業生として巣立っていく43人の一人一人の心の中に、日本の心と「仲間」のすばらしさを刻み込んでくれたことでしょう。



清水寺 11面観音菩薩立像を拝む



機織りの体験学習



二条城 二の丸御殿 唐門



清水の舞台 今年の漢字は「税」



金閣寺でも外人さんと記念写真

「生きる力」をはぐくむ環境教育

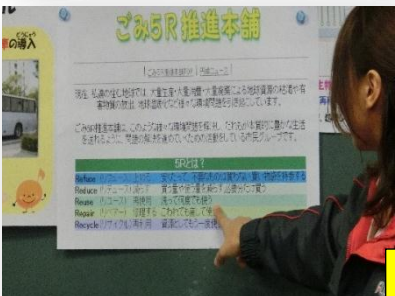
ESD・生活、総合的な学習



1年生 中保育園児となかよし交流会。ヤキイモもしました。



4年生 アイシンAW環境教室



ESD子ども会議に参加して感謝状をいただきました。



国際会議場で子ども会議に参加



生物多様性を考えるグループ



2・5年 お米パーティーで感謝

5Rの取り組みって知っていますか？

- 1 リヒューズ (Refuse) 断る。安くてもいらないものは買わない。
- 2 リペアー (Repair) 修理。こわれてもなおしてつかう。
- 3 リデュース (Reduce) 減らす。ごみをつくらない。
- 4 リユース (Reuse) 再使用。もういちどつかう。
- 5 リサイクル (Recycle) 再利用。もう一度使えるものに変身。



5年生 環境学習『三菱自動車の出前授業』電気自動車の試乗もさせていただきました。